

重要

来院される皆様へ

院内での不織布マスク着用について

厚生労働省より、「令和5年3月13日以降のマスク着用の考え方について」が示され、マスクの着脱に関しては個人の意思を尊重する方針となりました。

一方、当院ではがんや難病などの治療中で、コロナウイルス感染症による重症化リスクの高い患者さんが数多く来院しております。

当院におきましては、そういった患者さんやご家族の方が安心して療養が受けられる環境を整える必要がございます。そのため、引き続き建物内では不織布マスク着用をお願いいたします。

(参考) 厚生労働省発「令和5年3月13日以降のマスク着用の考え方について」より

<医療機関や高齢者施設などの対応>

○高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などの従事者の方は、勤務中のマスクの着用を推奨しています。

※マスクの着用は個人の判断に委ねられるものではありませんが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容されません。

令和5年3月1日

京都大学医学部附属病院

病院長 宮本 享

不織布マスク着用

手指消毒



をお願いします



本院では、多くの重症化
リスクの高い患者さんが
診療を受けておられます。

院内感染防止のため、
皆さまのご理解とご協力を
お願いいたします。病院長